



2018年
1月17日
No. 884

「連交労の総合力を発揮し、組織の強化・拡大と憲法の活きる日本をつくらう！」



委員長挨拶

明けましておめでとうございます
核兵器への「悪の烙印」が初めて国際的に法として押され、核にしがみついた勢力への大きな打撃になっていきます。被爆国日本の安倍政権が、被爆者や市民多くの世界の国々の人々の願いに背を向け、この条約での長いながい苦勞の積み重ねに反対したことは本当に恥ず

ねがあつたからすべきことです。アメリカ言ひなりの核抑止力論を打ち破り核廃絶への運動をさらに大きくしなければなりません。また昨年は、安倍首相の国政私物化「モリカケ疑惑」隠しの党利党略の突然の総選挙となりあわただしい年でもありません。東京都議選における惨敗など自民党は市民と野党の共闘に追い詰められての解散総選挙でした。希望の党の出現や民進党の背信行為などによつて自公政権は助けられませんが、私たちは市民と野党の共闘の旗の下、今までにならぬ短期間の選挙戦を闘いました。組合は野党統一候補となつたときは組織で推薦して闘うことを決定し、仲間のみならずにも訴えて頑張りました。結果、立憲野党勢力（共産党、社民党、立憲民主党）は、33議席から69議席へ躍進するこ

うが、市民と野党共闘を守り抜きました。しかし国会は改憲勢力が8割をしめて安倍首相は憲法9条改憲を虎視眈々と狙い、通常国会への改憲案の発議をしようとしています。憲法9条に自衛隊を書き加えようとしているわけですが、そうすると今の憲法9条は死文化してしまい憲法違反の「戦争法」による自衛隊が海外で大手をふるって戦争できるようになり、地震や水害で活躍する自衛隊とは全く違う海外で戦争する自衛隊になるのです。いまそうした策動を絶対に許さず阻止するために草の根からの運動を強め3000万人の改憲阻止署名運動が展開されています。

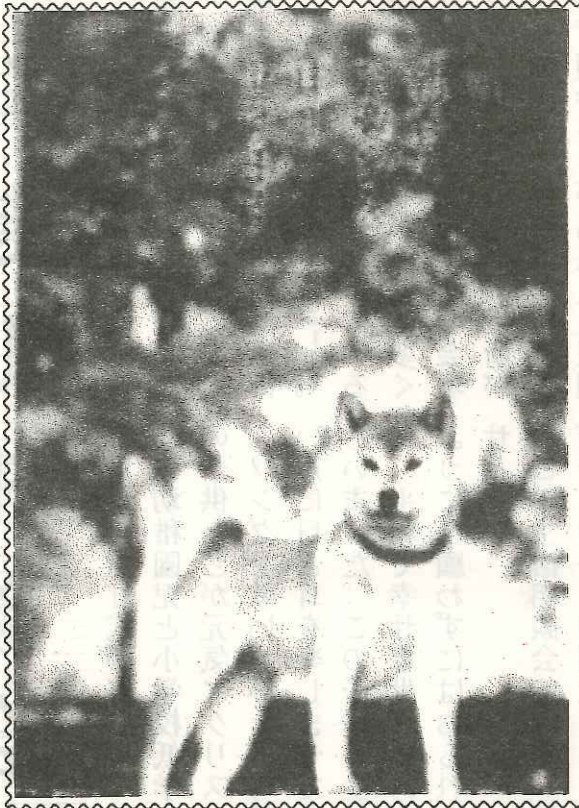
吠える

天仰ぎ
大地にもみつけ
煮えたる憎しみ全て
吐き出し吠える

もろはけん

戦争の武器買ひあはる
儲かり過ぎて太鼓腹破れぞうな
資本家には減税につく減税
弱者の命追ひ詰める消費税は大増税
昭恵夫人とたわむれ外遊
メディア抱き込む豪華な会食
年金・医療・介護・社会保障
国の責任は全て放棄

おれたちの血税はどうなつてゐるんだ
今にみている
おれたちの吠え声は地鳴りとなり
血も涙もないアへ政治の咽喉切り裂く



組合員の仲間の皆さんも共に立ち上がり運動に積極的に参加しましょう。今年の新春映画鑑賞は「ユダヤ人を救った動物園—アントニーナが愛した命—」でした。第2次世界大戦でポーランドのワルシャワの動物園でのナチスドイツのユダヤ人迫害を描いた映画で、動物園の地下室にユダヤ人をかくまひ、ガス室送りから救出出すという勇気と愛、命がけの闘いを描いたものです。コルチャック先生も出てきます。ポーランドはヒトラードイツとソ連—スターリンとの密約の下、両方から占領され領土を略奪された歴史を持つ国ですが、戦争の虚しさともに最後まであきらめないことの大切さを感じました。あらためて「失業と貧乏と戦争に反対」の闘い、建交労の運動を貫き大きく前進させなければならぬと思ひます。戦争への道と裏腹に格差と貧困の広がりの問題があります。働くもの、国民の生活、高齢者や弱いものに対する冷たいやり方、残業代ゼロ法案など労働法制の改悪、低賃金、不安定雇用の拡大、介護医療など社会保障の改悪など・・・誰でも8時間働けば安心して暮らせる、高齢者は年金や社会保障の充実で安心して老後を生きてられる。そして何よりも平和と民主主義が守られる世の中を目指して建交労とともに、組合を大きくして、闘う仲間をたくさん増やして、団結して今年も頑張りますよ。

委員長 赤瀬重則

年越し相談会

昨年暮れの12月15日(金) ツリーの点灯式が催され、近年金支給日にあわせ「いのちの幼稚園児と小学校低学年と暮らしの生活相談会」を定例場所である田川伊田商店街(ココイタ)で開催しました。い声に目と耳を楽しませても開始前の準備を進めているらいました。この子達の生涯段階で人の通りが徐々に多くが、平和で幸せな世界であるなり賑やかな「相談会」会場ようにと願わずにはおられません。田川診療所がせん。

この生活相談会で行う「健康子エックは、相変わらず順番待ちが出来(血圧測定・骨密度測定・体脂肪測定)の検査・診断結果については、困ったことがあればぜひ職員・看護師が適切なアドバご相談ください。(問合わせ先・九九四七の不安な気持ちも幾分解消さ四四一〇九八七 建交労) 回の大変喜ばれており、次迄に。おられました

書記長 杉峰 みどり

19日怒りの行動

また、生活相談会については、筑豊合同法律事務所弁護士の登野城先生に毎回、参加していただいています。早速、開催時間に合わせ①一組のご夫婦が訪れ法律問題について先生に相談、スタッフを交えて聞き取り、受け答えながら、相談者が納得するまで適格なアドバイスをさせていただきました。

引き続き②土地の問題③公害問題と、この日は4名の方々と面談。対応を行いました。歳末時期でもあるこの日は、普段と格別に違って(ココイタ)の前ではクリスマス

戦後70年以上、日本が海外で戦争をしなかったのは憲法9条があったから、殺し、殺されがなかったのです。自衛隊明記の9条改悪では、9条(戦争放棄)2項(戦力不保持)はそのままに自衛隊を明記する。2項を削減したうえ軍隊(国防軍)として明記する2案をだそうとしています。案では1項2項は維持するという事ですが、法では「後でつくった法は前の法に優先する」という原則があり、憲法に後から「自衛隊」と書いた場合は決定的です。

この場合、後から作った「自衛隊明記」が優先される。「自衛隊は」は2015年制定の安保法制で集団

春闘討論集会・組織拡大幹部養成学校

的自衛権の行使を容認され「海外で戦争できる自衛隊」です。戦争しない自衛隊から戦争できる自衛隊になったの対し、12月19日他団体と共同で某スーパーの前で署名行動をしました。情宣では、000万署名の訴えをしました。高齢の方達は戦争は絶対反対、反対の方だったら署名する、孫たちが大変な事になるという方達が多かったです。他の方達も今の政治はおかしいと言て快く署名して下さいました。参加者は19名でしたが署名行動はまだまだこれから続きます。早く3000万人の署名を集めましょう。今年もガンバル・ワン 執行委員 後藤桂子

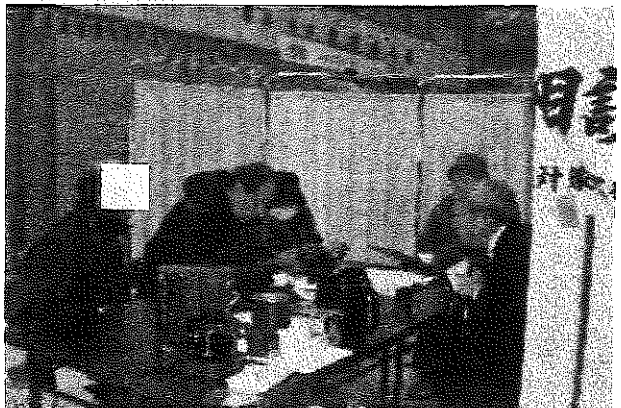
福岡県本部は、12月10日「オアシス篠栗」で(2018年春闘討論集会と第12回組織拡大幹部養成学校)を43名参加の中で開催しました。

松田県本部委員長のあいさつでは「現在の日本では、みな労働者が増加、残業代を払わない状況が作られている、毎年行われているメーデーは、労働者により8時間労働を作つとの交渉を行う中で春闘の取(8時間働き・8時間の睡眠・8時間の自分の時間)としは自分の時間)とし度を変えられようと

している(成果賃金、青年部に成果主義)今年の春闘は団結して闘う必要がある。2020年までに福岡の人口は大きく減一若者は職を求めて都会へ一福岡で雇用・賃金を守る闘いを強化しよう」と話認を行いました。

2020年までに福岡の人口は大きく減一若者は職を求めて都会へ一福岡で雇用・賃金を守る闘いを強化しよう」と話認を行いました。

書記長 杉峰みどり



女性部定期大会

12月3日女性部第9回定期大会がオアシス篠栗で開催されました。学童の方々は色々催しものがあり欠席が多く、各支部より11名の参加でした。

開会の挨拶では、秋月女性部長の挨拶の後中央執行委員長の（角田元女性部長）のメッセージの紹介では10月に行われた、総選挙は改憲派が三分の二を超える議席を獲得する結果となりました。

安倍首相は来年実施の消費税増税の口実は子育て支援と福祉にあてると、党利党略、私利私欲にまみれた解散総選挙でした。建交労は一貫して「失業と貧乏と戦争」に反対の旗印をかかげて闘い続けてきました。これからも一緒に奮闘して行きましようとのメッセージでした。県委員長は女性部の運動の中で（エフコープ生協）は田川から発足しました。地域に正規雇用がない、非正規労働者が三分の二安倍首相は雇用が増えていく、増えているのは賃金の安い「非正規」労働者が中心で建交労も正規雇用はトラックぐらいなもの」と報告されました。

経過報告では県女性部は安倍改憲を許すなど9条タオルを販売し財源活動に力を入れています。活動方針は安倍改憲阻止・戦争をする国にさせない闘いを強める・ヒバクシャ署名・9条改憲N0・憲法を生かす3千万署名に取り組みます。最後に恒例の（わしらの宝）を合唱して終了しました。

田川ソーシャルサービス事業所で就労されている皆様大変ご苦労さまでした。冬の寒さ、今年の夏の猛暑大変でしたネ・お疲れ様でした。今年も高齢者・失業者の仕事の確保と公的就労事業の確保に頑張つて行きたいと思っておりますので今年もよろしくお願い致します。

執行委員 豊福孝子

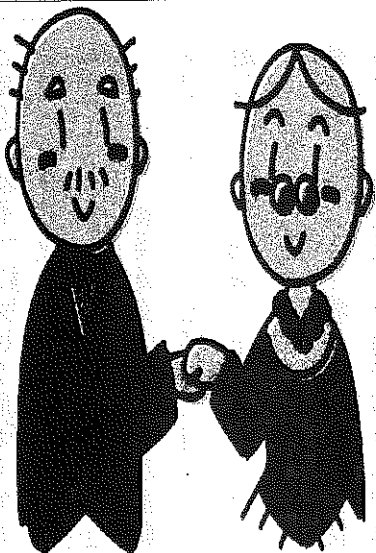
築じん肺第2陣訴訟

11月21日午前10時から福岡地裁で築じん肺第2陣訴訟公判が開かれました。本法廷から裁判長が変わり言葉がはつきりして、大変解りやすく聞くことができました。

この裁判長はトンネルじん肺の裁判を経験されていたとの事でした。問題は年金の記録などで原告が就労していた事とか、下請業者の仕事をした時ではないかなど、就労の時期、業者の確認、住民票で作業をしている時の場所などの確認、じん肺の粉じんの量など様々な問題点を出して話をしていたので、分かりやすかったです。大和工業の発言では、煉瓦の加工は現場ではしていない、築くだけで、粉じんは発生しない、などと言っていました。報告集会では、Mさんが仕事の内容を書いた手帳を持っていると言っていました。第1陣の和解は1年足らずだったけど、第2陣は今まで1年6カ月たっているが、最後に団結ガンバロウで閉会しました。

第29回介護ヘルパー仲間の集い

11月27日今年最後の介護ヘルパー仲間の集いをしました。今回は参加者8名が集いました。介護施設で働いている方々の話を聞いたり又私達も勉強させてもらっています。今回も介護報酬改定の話になり、資料を読み学習をしました。今年度からの介護報酬を改定論議



が進む中では多くの介護事業者は経営が困難になり利用者が必要な介護サービスを使えない、事態がおこっている事、政府は介護報酬の削減をしてサービスに利用制限をかけようとしています。

介護報酬は大体3年に1度改定されますが、今回は2年に1度の医療の診療報酬改定と重なる年の為、財務省は、診療・介護報酬を一体的に削減することを狙っています。介護事業所の経営が苦境に追い込まれ、職員の確保ができなくて、特別養護老人ホームが新たに開所できなくなり大問題になりました。

介護報酬削減は、一人ひとりが使う介護サービスの量と質の縮減につながるし利用者・家族に大きな負担と困難になります。これまでも要支援の人の「保険外し」と

批判されました。今年度改定では、深刻な利用制限が厚労省の審議会で検討されています。訪問介護で調理や掃除をする「生活援助」の利用回数制限です厚労省が基準を設けそれを超える利用は、市区町村に設けられた会議で検証し「是正」を求め「自立重視」の名で介護保険から「卒業を強化しよう」としています。国民に長年保険料を負担させて、使いたい時にサービスを使えないこんな「国家的詐欺」は認められません。介護保険を利用する人たちも安心できるようになれたら良いと思います。そのためにも介護報酬の引き上げは不可欠です。利用者負担増を軽減する処置も必要です。介護現場の実態を無視して、給付減や負担増を許さない、運動を広げることが重要です。仲間の集いでは、22日は新年の集いをいたします。

執行委員 後藤桂子

お知らせ

1月28日(日) 田川情報センター(元東高校跡)で弁護士先生(井下 顕)が講演を行います。

講演の題名は「日本を戦争する国にしないために」3千万署名を達成しよう! と言うことでお話をしてくださいます。

「安倍政権NO 憲法改悪に反対」皆さん誘い合って聞きに來てください。お待ちいたしています。

3千万署名を成功させましょう。